



1

《近代水道の始まり》

現在の水道の仕組みは、「いつ」「どこで」「どうして」誕生したかご存じですか？ 日本の近代水道は、明治20年10月に横浜市で誕生しました。江戸時代にも水道はありましたが、なぜ「近代」水道が必要とされたのでしょうか？



長い鎖国の時代を経て、江戸時代末期に長崎、箱館（函館）、そして横浜が開港し、外国との貿易が盛んになりました。それに伴い、外国からの水系感染症（腸チフス・赤痢・コレラ等）の侵入や、市街化進展による井戸水の汚染の問題もあり、水を媒介とする伝染病の全国的な流行を引き起こしました。

このため、安全で清潔な水が求められ、「近代」水道が普及することになりました。

3

《安心安全な水を届けるために》

「蛇口をひねれば水が出て、いつでも安心して飲む」ことが当たり前であるように、横手市上下水道部では、安全な水をお届けするために日々努力を重ねています。

横手市の水道水は「川」「井戸」「湧水」を水源として、22の浄水場でそれぞれキレイな水となり、その後市内50の配水池へ送られて、そこからみなさんのもとへ届けられます。



2

《横手市の水道の始まり》

横手市でも昔から「水量不足」や「水質悪化」に悩まされていましたが、戦後の人口増加に伴い、衛生環境も次第に悪化して腸チフスや赤痢が蔓延しました。



そのため、横手地域では昭和26年9月の市議会にて上水道創設が満場一致で了承され、昭和29年に供給が開始されました。他地域でも昭和30年代に水道水の供給が始まり、全地域で水道水が使用可能となっています。

なお、一部地域の中に現在も水道未普及地区があり、解消に努めています。

4

《安定して水を使うために》

蛇口から水が出るために不可欠なのは、「水道管」です。

令和6年3月末での横手市の水道管の総延長は約1,021kmありますが、昭和50年代に整備されたものが多いです。

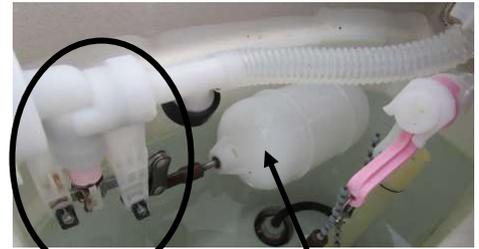
水道管の耐用年数は40年であるため、老朽管を「耐震性に優れた」「より長寿命の」管に毎年更新しています。ただし、財政面の問題もあって毎年5km程度の更新であることが、課題となっています。

トイレのボールタップのおはなし

タンク式トイレの場合、「ボールタップ」という部品が、タンク内の水を一定の水位に保つ役割をしています。

ボールタップも経年劣化等により故障することがあり、トイレが流せなくなったり、水が止まらなくなったりします。特にチョロチョロと「水が流れっぱなし」になったときは、そのことに気が付かないまま数日から数か月経過してしまうこともあります。

〈トイレタンクの中の様子〉



水を止めるボールタップ

浮き玉

トイレから出てしばらくたった後でも水が流れる音がある場合や、次に入ったときに水面が揺れているようであれば、ボールタップが故障している可能性が高いです。

「あれ?」と思ったら、早めに横手市指定給水工事事業者にご相談ください。

※トイレのボールタップの不良は、水道料金及び下水道使用料（集落排水使用料）の減免対象にはなりません。

水道料金等を口座振替払いにしませんか？

口座振替払いを利用いただくと、検針した水量を2分割して「毎月の振替」（月払い）になります。一回ごとの負担が少なく、払い忘れも防げるので便利です。

また、納付書払いのお客様には検針時に『検針票と納入通知書』の2つをお届けしていますが、口座振替なら納入通知書をなくす心配もなくなります。

便利で安心な口座振替を、この機会にぜひご検討ください。申し込みは、市内金融機関の窓口になります。（通帳とお届け印が必要です）

【口座振替払い】振替は毎月。（1ヶ月分の請求）

【納付書払い】請求は2ヶ月ごと。（2ヶ月分の請求）

支払いは市内金融機関、コンビニエンスストア、横手市水道お客様センター
スマートフォンのバーコード決済
（PayPay、LINE Pay、d払い、auPAY）

料金のお問い合わせは…… 横手市水道お客様センター TEL 0182-32-2758

平日 8:30～17:30

（水曜日 8:30～19:00）

土日 8:30～13:30

祝日及び振替休日、
12/29～1/3は休業